

実用書式・ペン習字 選択の人へ 第3回目

美しい文字を書くために、そして正しい書式を知るためにこの講座はあります。
ですから、この課題に取り組む間だけ

○丁寧に書く

○納得がいかない文字は消して書き直す

は、心がけてください。

今回の課題は『ペン習字の基礎』石川芳雲著 P48 です。

『ひらがな』の『ゆ』～『ん』

用具は、鉛筆かシャープペンシルです。

今回は

- ① 一段目の手本に、自分で上手く見えるポイントを書き込む。
前回までの赤字を参考に、文字の外形、長さ、高さ、空間、角など、みつけれただけ書き込みましょう。
- ② 二段目はなぞり書き。
前回まで同様にはみださないこと。この時の気づきを大切に!!
- ③ 三段目は上の手本をよく見て丁寧に書く。
- ④ 下の語句も忘れずに書く。
ここは、ポイントの書き込みは不要です。そのかわりに、横書き縦書きともに罫線と文字との間の空間がそろうように意識しましょう。特に縦書きは文字の中心がそろうと美しく見えます。

それ以上は、書きたくてもまだ書きすすめないでね。

* 提出方法は、後日連絡します。

れ	る	り	ら	よ	^(例) ゆ の短く
れ	る	り	ら	よ	ゆ
ん	を	ゑ	ゐ	わ	ろ
ん	を	ゑ	ゐ	わ	ろ

① ひらがな

前回までの課題の赤字を参考い「ゆ」「ん」「い」の上でよく見えるポイントと鉛筆を記入しよう。

わたし	より	です
みんな	ため	ある

この部分はポイント記入は不要です。
→ いね...に横に書きましょう。